

当院では看護職員の負担軽減及び処遇の改善 に関する取り組みをしています

■看護職員とケアワーカーとの業務範囲についての見直し 業務量の調整

毎月の年次有給休暇の取得率、時間外労働の算出を行いながら、負担割合を把握し、隨時業務範囲の見直しを行っていく。

■看護職員と他職種との業務分担

- * 薬剤師による持参薬の鑑別及び病棟薬剤に関する対応、自己管理へ向けた介入
- * リハビリスタッフによるリハビリの送迎
- * 放射線技師・検査技師による、病棟での各種検査の対応。患者の送迎
- * 事務職員による働きやすい職場づくりへの介入、相談事への速やかな対応
- * 施設管理による各部署での事象への対応

■多様な勤務形態の導入

- * 子育て中の短時間正規雇用
- * 妊娠・子育て中の夜勤の免除
- * 夜勤専従者の確保
- * 院内保育所

■研修会、勉強会の実施時間

- * 勤務時間内での開催
- * 参加できない職員へのビデオ聴講

■安定的な欠員補充と定着促進

- * 人員補充の継続的実行

■休憩時間、環境整備

- * 現状の問題点を把握し、隨時整備を行う